

第37回

藤里町交通安全町民大会

10月23日、総合開発センターにおいて、第37回藤里町交通安全町民大会が開催され、交通安全功労者や交通安全作品コンクール入賞者を表彰するとともに、家庭・職場・地域から交通安全思想の普及に努め、交通ルールの遵守とマナーの向上に努めることなどの大会宣言案を採択。事故のない安全で安心な町づくりを誓いました。

本大会は、悲惨で恐ろしい交通事故を町民総ぐるみで防ぎ、安全で住みよい町を目指すとともに、町民一人ひとりの交通安全意識を高めようと、毎年開かれてくるもので、この日は、藤里町交通指導員をはじめ、各地区の交通安全推進員や関係者など、80名余が参加しました。

初めに、交通事故犠牲者に黙とうを捧げ、続いて佐々木町長よりあいさつが述べられたあと、交通安全功労者の方々と交通安全作品コンクール入賞者に対して表彰状と記念品が贈られました。

その後、浅利教育長から交通安全作品コンクールの審査講評が報告され、続いて作文の部で最優秀賞を受賞した小田原未呼さんが作文の朗読をしました。

そして、最後に藤里町交通安全母の会代表が大会宣言案を読み上げ、満場の拍手で採択されました。

交通安全作品コンクール

【作文の部】

《最優秀賞》

- ◇小田原 未呼さん（藤里中学校1年）
「急がずに マナーとゆとりで 交通安全」

《優秀賞》

- ◇佐藤 瑛太さん（藤里中学校1年）
「思いがけない交通事故のこわさ」
- ◇淡路 海地さん（藤里小学校6年）
「交通事故ゼロの町をめざして」

交通安全功労者

◇下坂保太郎さん（幸町）

平成17年12月より二ツ井藤里地区交通安全協会藤里支部の理事に就任し、幸町地区を担当され、多年にわたって交通安全運動に尽力されています。

◇成田和夫さん（鳥谷場）

平成18年3月より二ツ井藤里地区交通安全協会藤里支部の副支部長に就任し、翌年2月に本会副会長に就任され協会運営の一翼を担い、多年にわたって交通安全運動に尽力されています。

◇小森富勝さん（熊の岱）

平成18年4月より二ツ井藤里地区交通安全協会藤里支部の理事に就任し、上中畑地区を担当され、多年にわたって交通安全運動に尽力されています。

作品紹介

「急がずに マナーとゆとりで 交通安全」



小田原未呼さん

私が思う藤里町のいいところは、交通事故ゼロが続いていることです。私は、この藤里町の安全を守っていくために、これからどのようにしていけばよいか、考えてみました。

一つ目は、自転車に乗ったら必ずヘルメットをかぶるということです。私は、中学校に入って通学するときや、遊びに行くときなど、自転車をすることがとても多くなりました。小学校時代は、なかなか自転車を使わなかったので「ヘルメットをかぶる」という習慣は身に付かず、時々忘れてしまうことが多々ありました。これからは、しっかりとかぶり、自転車事故にあわないようにしたいと思います。また、急な坂では必ず自転車から降りるように意識しています。もし、急な坂を自転車から降りていない人がいたら、自分から進んで注意したいと思います。その一言でその場の危険から逃れることができると思うので、自分自身、

《入選》

- ◇中嶋 匠智さん（藤里小学校6年）
「自転車はおりてわたろう」
- ◇夏井 優花さん（藤里小学校5年）
「お酒と命どっちを選ぶ？」

《優秀賞》

- ◇齋藤 舜介さん（藤里小学校6年）
「わき見運転危ないよ」
- ◇菊池 瑞彩さん（藤里小学校2年）
「のんだら のるな！」
- ◇山田 翔子さん（藤里小学校2年）
「手をあげよう」